

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(令和元年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立ゆずりはら青少年自然の里	所管課	教育委員会 生涯学習課
所在地	上野原市桐原13880	設置年月日 (改築年月日等)	平成10年7月14日
管理方式	上野原市		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立青少年自然の里設置及び管理条例		
設置目的	豊かな自然とのふれあいの中で、集団宿泊生活を通して自律、責任、協力、友愛、奉仕等の尊さを体験的に学習させ、ふるさとを愛するたくましく心豊かな青少年を育成すること。		
主な施設内容 (定員等)	<p>○敷地面積 約33,000㎡ ○延床面積 約 2,016㎡</p> <p>○施設の内容</p> <p>《本館棟》(847.133㎡)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラウンジ・食堂・多目的ホール・事務室</li> </ul> <p>《一般宿泊棟》(491.400㎡)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3棟[寝室4室、広間、リーダー室、トイレ、洗面所、定員26人/1棟]</li> </ul> <p>《家族・身障者棟》(414.993㎡)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族宿泊室:4室[4人用]・身障者宿泊室・リーダー室</li> <li>・浴室・身障者用浴室</li> </ul> <p>《その他》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外炊事場棟(43㎡):調理台×4、流し×8、かまど×6</li> <li>・キャビン棟:ミーティングルーム・キャンプ場:キャンプ場トイレ</li> </ul>		
主な業務内容	<p>(1)利用の承認に関する業務</p> <p>(2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務</p> <p>(3)集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務</p> <p>(4)地域における生活文化の経験学習に関する業務</p> <p>(5)野外観察、自然探求その他の自然に親しませる学習活動に関する業務</p> <p>(6)野外活動及びレクリエーションに関する業務</p>		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	<p>上野原市立地域交流館</p> <p>山梨県立愛宕山少年自然の家:定員150人</p> <p>山梨県立八ヶ岳少年自然の家:定員210人</p>
---------------------	---

## 3 利用状況

単位:人、%

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (目標値)
利用者数	宿泊利用者数	7,165	7,917	7,070	8,000
	キャンプ場利用者数	1,410	853	1,145	1,000
	日帰り利用者数	1,555	2,899	3,195	3,000
	利用者数合計	10,130	11,669	11,410	12,000
	目標値	12,000	12,000	12,000	12,000
	目標値設定の考え方及びその理由	施設規模や季節による利用動向の変化から年間利用者数については12,000人を適正な目標数と考え、設定。 (平成29年度に達成できなかったため同じ目標値とした。)			
対平成29年度比		115.2%	112.6%	118.5%	
利用率	58.6%	69.3%	64.8%		

## 4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		平成30年度	令和元年度 (計画値)	令和元年度 (実績値)	令和2年度 (計画値)
収入	施設利用料				
	指定管理者委託料	33,258,000	33,439,000	33,439,000	33,503,000
	その他				
	収入合計(A)	33,258,000	33,439,000	33,439,000	33,503,000
支出	人件費	19,287,175	16,925,000	18,886,599	14,306,000
	県への納付金				
	管理運営費	17,749,764	16,514,000	16,852,785	19,197,000
	うち外部委託費(B)	6,283,781	6,104,000	5,871,443	9,379,000
	支出合計(C)	37,036,939	33,439,000	35,739,384	33,503,000
	収支差額(A-C)	△ 3,778,939		△ 2,300,384	
	外部委託比率(B÷C)	17.0%	18.3%	16.4%	28.0%
	利用者一人当たりの経費	2,850.1	2,786.6	2,930.7	2,791.9

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	実施時期:平成31年4月～令和2年3月 実施方法:県立ゆずりはら青少年自然の里利用団体へのアンケート 回答数:55団体
-------	---

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
施設までのアクセス	59.2%	33.9%	5.6%	1.3%
申込方法	70.5%	25.9%	1.8%	1.8%
利用料金	81.6%	16.6%		1.8%
活動プログラム	64.7%	33.4%		1.9%
貸出道具	77.5%	20.7%		1.8%
宿泊室	77.6%	18.8%	1.8%	1.8%
トイレ、浴室、洗面所	76.9%	17.4%	1.9%	3.8%
施設設備	71.9%	22.6%	3.7%	1.8%
施設全般	79.7%	18.5%	1.8%	
食堂、食事内容、料金等	55.2%	31.5%	7.8%	5.5%
施設全般の満足度	71.5%	24.0%	2.4%	2.1%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆様のサポートにより充実した研修になりました。</li> <li>・農山村住民の方との交流活動促進の場を提供いただき感謝しています。</li> <li>・柔軟に対応して下さり、自由にさせていただき感謝しています。</li> <li>・指導員の方々の対応が親切で、子ども達も喜んでいました。</li> <li>・構内に入れる車の台数を増やしてほしいです。</li> <li>・小学生が楽しめる様々なプログラムで有難いです。</li> <li>・県外からの利用なので、ふるさと納税の対象として利用できれば納税します。</li> <li>・新しいツリーハウスの広場も魅力的でした。</li> <li>・綺麗な施設と豊かな自然に感謝しています。</li> <li>・川遊びや、野外炊事も楽しく過ごすことができました。</li> <li>・抽選の場合、毎年利用できるか不安。前年利用した団体を優先してほしいです。</li> <li>・宿泊料金も利用しやすく、豊かな自然でまた利用したいです。</li> <li>・アイスブレイク活動がとてもよかったです。次回もお願いしたいです。</li> </ul>
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域高齢者の協力で子ども達に農業の大切さと収穫の楽しさを実感してもらった。</li> <li>・子ども達が楽しめるプログラムを創意工夫して作成した。</li> <li>・敷地内における活動の安全確保という観点から構内の駐車台数を制限していることを説明し、ご理解いただいた。</li> <li>・ふるさと納税の対象になるか関係部署に確認したところ、現時点では難しいとの回答であった。</li> <li>・公共施設であることから、平等に利用していただくために抽選を実施していることを説明し、ご理解いただいた。</li> </ul>

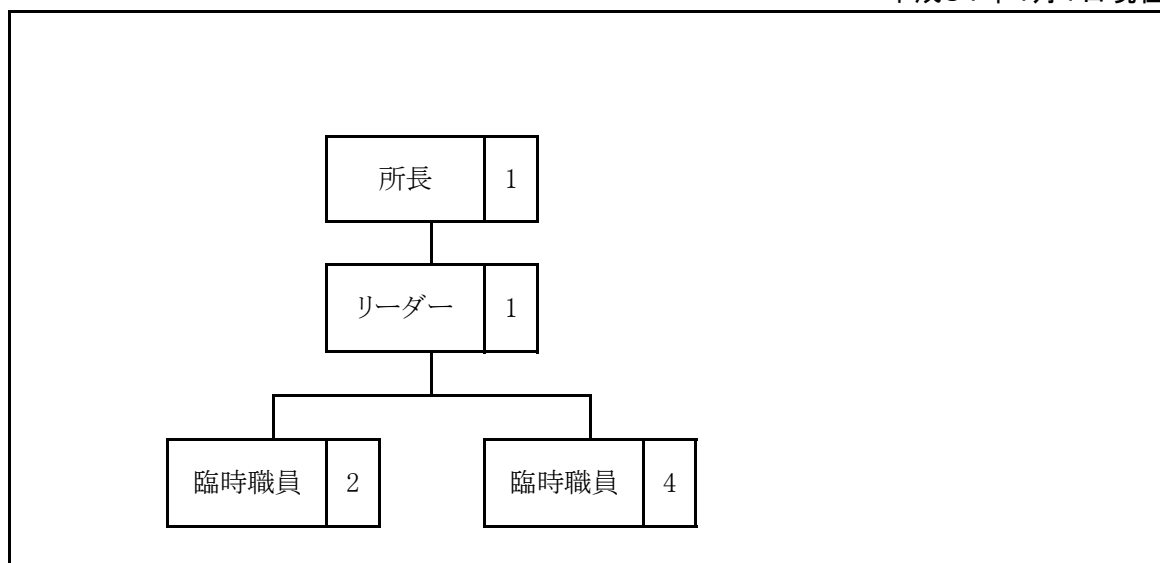
## 6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>法定点検やその他施設・設備の保守点検等をマニュアル通り適正に実施した。</p> <p>非常照明、汚水処理施設、ボイラー室の水漏れ等、迅速に修繕を行った。</p>	<p>施設・設備の維持管理については、業務仕様書、業務計画書に基づき、適正に執行されている。</p> <p>経年劣化による修繕が必要な箇所があるが、利用者の安全を第一に考え、迅速に対応することができた。今後も維持管理に努めるよう指導した。</p>
運営業務	<p>保育園、幼稚園、学校等と連携し、利用促進を図った。さらに高校生、大学生ボランティアとの協働により各主催事業を適正かつ円滑に実施した。</p>	<p>業務仕様書、業務計画書に基づき適正に執行されている。アンケート結果からの利用者の声を生かし、臨機応変に対応しているため、今後も利便性の向上を図ること。</p>
利用状況	<p>県東部地域を中心に学校や関係機関にPRを行い、積極的に利用を呼びかけている。首都圏の隣接した立地環境もあり、県外利用者が多く、リピーター率も高い。ただ、台風や新型コロナ感染症の影響で多数のキャンセルがあり、利用者数は減少した。</p> <p>予約方法について宿泊は1組のみから、人数に応じて複数組の予約を可能にした。</p>	<p>台風や新型コロナウイルスの感染拡大の影響があるなかでも、キャンプ場利用者および日帰り利用者が増えたことは評価できる。自然環境を生かした事業が計画されていることがうかがえる。予約方法を工夫したことで、利用者増につながった。今後も新規利用者の開拓に努めること。</p>
収支状況	<p>山梨県からの委託金だけでなく、上野原市の繰入金を合わせて、効率的な財政運営に努めている。</p>	<p>昨年度と比較して、支出額が削減されており、努力の成果が見て取れる。利用者へのサービスが低下しないことに留意して、引き続き効率的な財政運営に努めること。</p>
自主事業	<p>児童生徒を対象にした自主事業については、定着しており定員を上回る応募がある。閑散期(秋・冬)の事業についても参加者が延80名を超え、利用者にも好評であった。また、一般を対象にした自主事業も実施し、好評を得ている。</p>	<p>閑散期である秋・冬の自主事業に多くの参加があり、魅力的な内容であることがうかがえる。自然環境を生かした自主事業を今後も計画するよう努めること。</p>
利用者満足度	<p>施設全般の満足度で、95.3%の利用者から「満足」「どちらかと言えば満足」との高い評価をいただいた。</p> <p>食堂、食事内容、料金等については「満足」の評価は55.2%と低く、13.3%の方が「不満」「やや不満」とあるので、アンケートを通して利用者の要望を集めるとともに、業務を行っている東洋食品とも相談し改善に努めていく。</p>	<p>前年度に比べ、利用者の満足度が高く、食堂以外の項目における「不満」の評価はすべて改善しており、職員のきめ細かな対応が高評価につながっていると思われる。</p> <p>食堂に対する評価については、昨年度よりも評価が低下していることから、よりよいサービス提供のために、利用者ニーズを掘り起こす等、努力が求められる。</p>

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>施設及び設備器具の維持保全にあたり、基本協定書、事業計画等に基づき、専門業者による法定点検及び職員による日々の定期点検を実施し、結果については定期報告書を県に提出し確認を受けている。</p> <p>県の指示のもと緊急又は簡易な修繕工事を13件施工した。</p> <p>令和元年度、利用者数の目標値は昨年と同様に12,000人とし、実績は11,410人だった。利用者数は前年度より259人減少した。その理由については、天候不順による9月利用者のキャンセルとコロナウイルス感染拡大の影響による2月・3月のキャンセルが主な要因と考えられる。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>施設の維持管理、運營業務等は、基本協定書や事業計画に基づき、概ね適正に執行されている。</p> <p>宿泊利用者は減少したものの、キャンプ場利用者および日帰り利用者が増加し、概ね昨年度と横ばいの実績となっている。桐原の自然を生かしたキャンプ施設やプログラム内容に利用者の興味関心が高まっていることがうかがえる。</p> <p>利用者アンケート等で寄せられた利用者の声を受け止め、改善に役立てていくよう指導を行った。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>施設の維持管理、運營業務等は、基本協定書や事業計画に基づき、引き続き適正に行っていく。</p> <p>宿泊利用者は減少したが、施設利用者が興味を引く主催事業のプログラム構成により県内小中学校を中心にPR活動を行ったことで、キャンプ利用者や日帰り利用者が増加した。</p> <p>また、アンケートに寄せられた要望に迅速に対応する等、利用しやすい環境作りに努めた。</p> <p>引き続き、県内利用者の増加を目指し、主催事業の創意工夫を図っていく。</p>

7 管理体制(組織図)

平成31年4月1日現在



所長	1人
リーダー	1人
臨時職員(指導員)	2人
臨時職員(指導員補助)	4人
合計	8人